
開講科目名：租税法研究演習 2 年（松井先生） （4単位）
開設年次：2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：松井 幹夫

《授業の概要》

本演習では、参加者各自が選択したところによる専門テーマについて、テーマ選択者による報告、他の参加者による質疑、全員による討議を通じて租税法の研究を深めるとともに、修士論文のテーマの選定と指導にあたる。具体的には次の通りとする。

- (1) 4月～7月：論文テーマを選択・決定し、必要な資料を収集させ、論文の目次を策定させることまでを目標とする。
- (2) 夏休み：自主ゼミの実施を通し、書き易いところから書き始め、論文の形を作り上げることを目標とする。
- (3) 9月～10月：論文の中身の整合性及び論旨展開等のチェックを通じて、論文を作り上げることを目標とする。
- (4) 10月末：この時期までに、初稿が出来上がることを目標とする。
- (5) 11月～12月：論文の内容精査及びゼミ生同志による読み合わせチェックを行う。
- (6) 1月：期限までに論文を提出させる。

【評価方法】

出席及び授業への貢献度等を総合的に勘案して評価する。